

天満屋倉敷店 2017年2月の画廊予定

◎ 4階美術画廊

会 期	内 容
1/27(金)～2/2(木)	<p>岡京香 万華灯展</p> <p>福岡市在住の灯りアーティストである岡京香先生のオリジナル照明陶器<万華灯>。万華鏡のような灯りという発想から生まれた作品は、桜や雪月花など自然をモチーフの一つ一つ丁寧に作られています。作品から放たれる暖かみのある灯りが織りなす文様は、床や壁、天井に映り輝き幻想的な世界が広がります。ストレス社会の中での癒しアイテムとしておすすめの万華灯約50点を出品いたします。</p>
2/3(金)～2/9(木)	<p>ヴィンテージリトグラフポスター展</p> <p>1960～1980年代、フランスのギャラリーや20世紀のリトグラフの隆盛を支えたと言われるパリのムルロ工房などで刷られたヴィンテージリトグラフポスター展です。刷り自体は通常のリトグラフと変わらず、現在では制作できないクオリティと秀逸なデザインが人気です。ビュッフェ、ミロ、シャガールなど有名アーティストを中心に約30点を出品いたします。</p>
2/10(金)～2/16(木)	<p>備前焼のある暮らし 松井宏之作陶展</p> <p>森陶岳一門として活動しつつ独自の陶境を目指し日々研鑽を積んでいる松井宏之先生の作品展です。上智大学大学院修了後、大手証券会社に勤務していましたが、森陶岳氏の作品に魅了され、39歳の時に会社を辞めて備前陶芸センターへ入所。一年の研修を経て2001年から同氏に師事し、師の新大窯プロジェクトに参加するなど5年間修業を積み重ねました。その後2006年に独立し登り窯を築窯、2008年に初窯を出されました。今展では、新作の茶陶、花器、酒器、食器など約100点を出品いたします。</p>
2/17(金)～2/23(木)	<p>—歴史と伝統の流れを今日に— 現代ヨーロッパ絵画展</p> <p>長い歴史の中でそれぞれが独自の文化を繁栄させてきたヨーロッパ。本展では各国の美術画壇で現在活躍中の人気作家によるヨーロッパの香り高い油彩画・水彩画を集め一堂に展覧いたします。明るい色調の風景画から抽象画まで日本人にはない感性で描かれた作品約30点を出品いたします。</p>
2/24(金)～3/2(木)	<p>—青白磁と瑠璃— 森和之作陶展</p> <p>白磁の人間国宝前田昭博氏のもとで修業された鳥取市在住の日本工芸会正会員森和之先生の新作展です。伝統的を踏まえながらも新しい器作りを目指している森先生の作品は、表面を削り釉薬をかけることで色の濃淡を出すなど独特の景色を生んでいます。青白磁のもつ端正で緊張感のある洗練された美しさの中にも用の美を兼ね備えた花器、蓋物、酒器、食器など約100点を出品いたします。</p>

営業時間 午前10時～午後7時30分 ※2/2(木)は棚卸のため午後4時閉店
 いずれも会期最終日は、午後4時に閉場いたします。

作成：美術画廊担当 国光

お問合せ
 天満屋倉敷店 販売計画
 TEL 086-426-2205
 FAX 086-426-1136

※会期・タイトルは都合により変更することがあります。
 ※出品内容に変更がある場合があります。